宝永小だより

No.18
福井市宝永小学校
令和8年11月5日

学校教育目標：ひとり立ちできる子　～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

6年生　充実した修学旅行　10月22日（木）・23日（金）

両日とも晴天に恵まれ、子どもたちは体調を崩すこともなく、仲間と協力して、楽しく充実した2日間を過ごすことができました。そして、すべての場所で熱心に説明を聴き、多くのことを学ぶことができました。

一日目


＜金閣＞


＜北野天満宮＞

班別タクシー研修≪京都市内≫
５つの学習班に分かれて、京都市内にて班別タクシー研修を行いました。運転手さんの案内で、京都を代表する有名な神社・仏閣等を巡りました。

＜金閣寺＞金閣寺は正式名称を、鹿苑寺というのが分かりました。1階には金閣寺を建てた足利義満の釣り場がありました。その場でないと分からない金のかがやかしさなどを、生で体感することができました。

＜北野天満宮＞北野天満宮は学問の神様で、牛をなでたら悪いところが治ると知りました。牛は神様を送るための乗り物で、境内の牛の像をなでると、頭が良くなったり病気が治ったりすると言われていることがわかりました。







奈良公園
現地のガイドさんの案内で、南大門・大仏殿・二月堂・若草山を見学しました。現地でしか知りえない、本物の大きさや歴史に触れることができました。鹿と触れ合い、餌やりも楽しみました。

＜東大寺・奈良公園＞東大寺の大仏を見て、大きくて、とてもはく力があったし、大仏でも、色とか質感がちょっとちがっていることに気がついた。その理由が燃えてしまったりこわれてしまったりしてなくなって、その部分が造られた時代がちがっているからということを知り、なるほどと思った。

＊子どもたちが「修学旅行のしおり」に綴った感想を紹介します。





夕食

東大阪　石切温泉　ホテルセイリュウ
東大阪平野を一望できるホテルで宿泊。夕食も朝食もバイキングで、おいしい食事を楽しむことができました。天然温泉で、露天風呂もありました。

二日目


ＵＳＪ
仲間とグループでアトラクションに乗ったり、買い物をしたりして楽しみました。


平等院
平等院の鳳凰堂は１０円玉の図柄となっていることでも知られています。平安時代の貴重な建物（世界遺産）を眺めました。

＜USJ＞アトラクションが思っていたより待ち時間が長くて、考えていたルートではいけなかったけれど、次はどこに行った方がいいか考えて少しおくれてしまったけど、11時にレストランに入ったり、2つ目のアトラクションに乗ったりしました。乗りたいアトラクションにも乗れて楽しかったです。

＜平等院＞私は平等院ほうおう堂を見て、建立の形は何も意味がないと思っていたけれど、実際は、ほうおうがはねを広げているようすなのが、びっくりしました。


＜結団式＞


＜入館式＞


＜退館式＞

一人一役
修学旅行中の様々な場面において、自分の役割をしっかりと果たし、集団の一員としての自覚を高めました。

5年生　校外学習「秋吉」に学ぶ　10月22日（木）

子どもたちはキャリア教育の一環として、福井鉄道に乗って『株式会社　秋吉グループ本部』を訪問しました。秋吉グループ本部は全国各店舗へ食材などを届けている重要な拠点であり、食の安心・安全を第一に、お客様の満足を常に追求し、お客様のために一本一本丁寧に串を刺したり焼いたりしていることを教わりました。また、艱難（困難に出会って苦しみ悩むこと）に屈することなく伝統の味を未来に伝えるという経営理念に基づく仕事の工夫や働くうえで大切なことなどをたくさん学ぶことができました。特に質問コーナーでは、たくさんの子どもが手を挙げ、働くことについての大変さや楽しさを教えていただきました。最後にサプライズで、お店やお祭りで使用するトラックを使って「若どり」を焼いてもらい、美味しくいただきました。子どもたちは「お客様のために一本一本丁寧に串を刺したり焼いたりしている」ことを、味覚で感じることができたようです。


＜従業員の方が焼く様子を見守る子どもたち＞

3年生　宝永カルタウォークを開催する　10月22日（木）

宝永公民館運営審議員の方々に協力をいただいて、本年度2回目の『宝永カルタウォーク』を行いました。子どもたちのために案内してくださり、本当にありがとうございました。子どもたちは学級ごとに前回（6月25日実施）のコースと異なるもう一方のコースを回り、「宝永れきしカルタ」に詠まれている場所（岩佐又兵衛の墓、簸川神社、山本丈太郎生誕の地など）を訪れました。それぞれの場所で説明を聴き、歴史的に有名な人物や様々な史跡についてメモを取ることで、宝永地区の歴史に理解を深め、地域に対する関心を高めることができました。現在、子どもたちは総合的な学習の時間に、これまでの学習で知ることのできた宝永地区の歴史的に有名な人物や様々な史跡や施設を中心に、模造紙大の壁新聞にまとめています。子どもたちには発見した宝永地区の様々なよさを発信することで、地域への愛着をさらに深めていってほしいと願っています。


＜簸川神社で説明を聴く子どもたち＞

5年生　出前授業「プログラミング教育」　10月23日（金）

子どもたちはマイクロビットという教育用の小型コンピュータボードを使用してプログラミングに挑戦しました。アシスタントとして、福井大学教育学部の2名の学生に、子どもたちをサポートしていただきました。子どもたちはタブレット内の Web ブラウザ上で動く開発環境（MakeCode for micro:bit）を使ってプログラムを作成していきました。ブロックプログラミングといわれるパズルを組み合わせる感覚でコードが作れるため、子どもたちも安心して取り組むことができました。作成したプログラムを電池ボックスのつながったマイクロビット本体に Bluetooth 機能を使って転送し、25個のLEDライトのオン・オフで、図形や文字の形に表示させることができました。さらに、グループで試行錯誤しながら、複数の図形や文字の形を順序よく表示させていました。


＜プログラムをマイクロビットに転送する場面＞

6年生　ふくいの魅力を宝永地区に発信する　10月25日（日）

2日前に修学旅行を終えたばかりで疲れていたことと察しますが、たくさんの子どもたちが『ふくいの魅力　お菓子に変身！』のPR活動へ主体的に参加しました。宝永公民館の駐車場内に設けられたテント会場で、宝永地区の老舗『御素麺屋』様とコラボ開発させていただいた2種類の和菓子を、宝永地区文化祭の来場者に向けて抽選で配付しました。当日はあいにくの雨でしたが、テント内に手作りのぼり旗を3本立て、4月から始めた『福井の魅力を発信する活動』の経過をまとめた掲示物も3枚のパネルに貼りました。さらに、配付する和菓子の写真入りポスターをテントにぶら下げて、会場を飾りました。午前9時に準備を担当する第1グループが集まり、賞味期限のラベル貼りや越前和紙で作られた包み紙による和菓子の個包装を行いました。その後、子どもたちは呼び込み係・抽選係・開発した和菓子を説明したリーフレットと一緒に和菓子を渡す係に分かれて、活動を行いました。1時間ごとに次のグループへと引き継がれ、予定していた塩大福『越前海岸のしぶき』の150個、とみつ金時さつまいもどら焼きの『時を越えた満月』の150個、正午には全ての配付を終えました。PR活動に参加した子どもたちは、地域の方々等が和菓子を受け取って笑顔になる様子を見て、大きな達成感を味わうことができました。


＜和菓子を受け渡す場面＞

＊11月8日（日）の8時より、PTA環境整備作業を実施します。PTAの皆様には、子どもたちの学習環境をよりよくするために、大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

＊11月13日（金）の13時30分より、PTA会員交流係の事業『裕夢氏によるトークショー』を開催します。裕夢氏は現在、ライトノベル作家で、本校の卒業生です。PTAの皆様、ご都合がつきましたらお越しください。